

健康で安心のまちに

総合計画アンケート集計結果

企画課
☎8839

市では、平成十九年度を初年度とする「丸亀市総合計画」の策定に当たり、市民みなさんの意見を反映させるため、今年八月に、まちの将来の姿や市政の方向性についてアンケート調査を実施しました。

調査は、市内に在住の十六歳以上の三千人に調査票を送付し、千二百四十人から回答を頂きました。回収率は四一・六％でした。

丸亀市の魅力は？

グラフ1のように、丸亀市の魅力は、「自然環境が豊か」「買い物など日常生活が便利」といった回答が、それぞれ四割程度ありました。次いで、「歴史・文化が豊かで個性がある」「通勤・通学などの交通の便が良い」となっています。

逆に、丸亀市の魅力に乏しいところや住みにくいと感じる点は、「まちの魅力に乏しく、個性がない」、産業が停滞し働く場が少ない」といった回答が、それぞれ三割程度あり、次いで、「趣味や娯楽の場が少ない」、「防犯や防災の面で安心できない」となっています。

これからも住み続けたい

丸亀市に住み続けたいと考えている人は、約八割を占めており、「市外に移転したい」はわずか六％程度となっています。

行財政改革の在り方

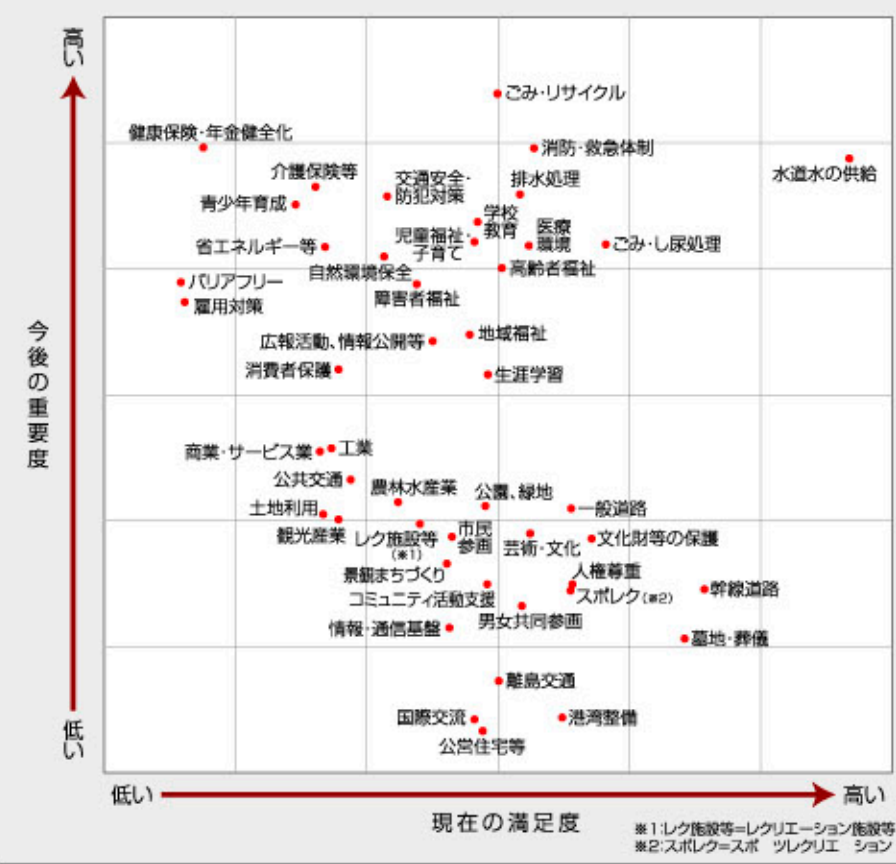
行財政改革については、「行政サービスの一部削減するが、市民生活への影響が少ない範囲で進めていくべき」が五四％と最も多く、次いで「行政サービスを削減しても、積極的に進めていくべきである」が一八％となっており、これらを合わせると約七割が行財政改革を推進していくべきであると

みなさんのご意見を

回答しており、積極的な行財政改革の取り組みを求めていると言えます。

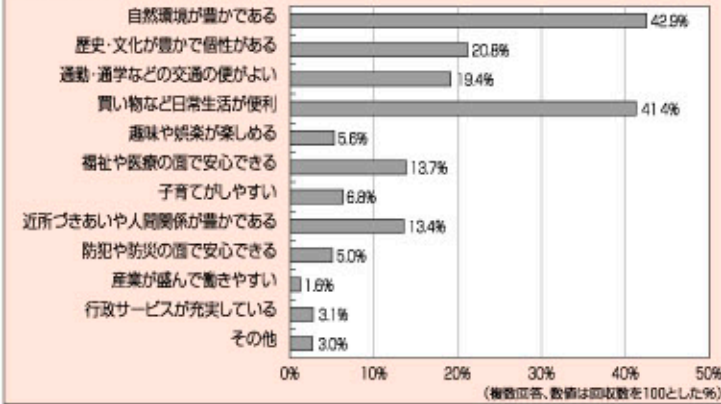
今回のアンケート調査の詳細については、市のホームページに掲載しています。また、今回の調査の対象とならなかったみなさんも、手紙、ファクス、メールでご意見をお寄せください。連絡先：市企画課（☎8839・FAX8874）

◆グラフ3 現在の満足度と今後の重要度

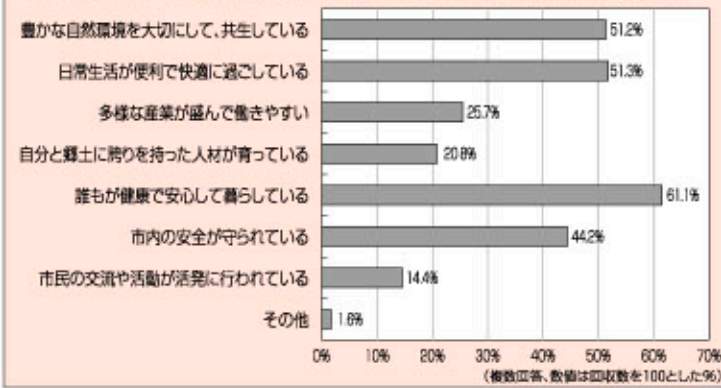


います。定住地としての満足度は非常に高いと言えます。

◆グラフ1 丸亀市の魅力と感じる点



◆グラフ2 丸亀市は将来どのような状態の市になっていけばよいか



グラフ3のように市の施策で満足度が高いのは、「水道水の供給」、「幹線道

まちの将来像は？

グラフ2のように、「誰もが健康で安心して暮らしている」という回答が最も多く約六割であり、まちの将来の姿として重要視されています。次いで、「日常生活が便利で快適に過ごしている」、豊かな自然環境を大切に、共生している」が約五割、「市内の安全が守られている」が約四割となっています。

施策の満足度と今後の重要度

グラフ3のように市の施策で満足度が高いのは、「水道水の供給」、「幹線道

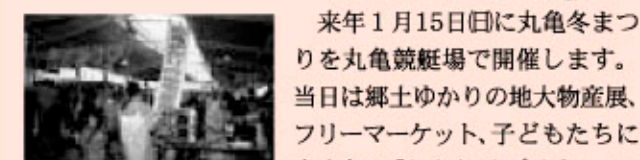
市民参画と地域活動

市民参画については、「自主的にグループをつくり、積極的に市政への提言や、まちづくりの活動をしたが」が一〇％、「自主的に個々のレベルで、市政への提言や、まちづくりの活動に協力したい」が二四％で、これらを合わせると、まちづくり活動に参加したいという積極的な回答が三割を超えています。

また、地域活動への参加の現状では、「自治会の活動」が四三％と最も多く、次いで「地域の清掃・美化活動・環境保護などの市民活動」となっています。

一方、地域活動への参加に対する今後の意向では、「地域で行うスポーツやけいこ事、趣味のサークル」、「地域の清掃・美化活動・環境保護などの市民活動」、「自治会の活動」の順となっています。

丸亀冬まつり



来年1月15日(日)に丸亀冬まつりを丸亀競艇場で開催します。当日は郷土ゆかりの地大物産展、フリーマーケット、子どもたちに大人気の「ふたりはプリキュア」ショーなど、たくさんの催しが行われます。また、先着1,000人に限り、丸亀の郷土料理「月菜汁」の無料配布を行います。当日、競艇場駐車場では、恒例の全国たこあげ大会を開催します。みなさんのお越しをお待ちしています。

- 〈フリーマーケット出店要領〉
- とき=平成18年1月15日(日)・午前9時半～午後4時
 - ところ=丸亀競艇場内
 - 申し込み方法=所定の申込書(市役所案内所、市商工観光課などに設置)に必要事項を記入し、下記へ送付
 - 申込先=〒763-8501 市商工観光課冬まつりフリーマーケット担当
 - 出店料=1ブース(間口3.6m×奥行2.5m) 2,000円(全120ブース) ※プロの人の出店はお断りします。締め切りは、12月16日(金)(必着・先着順)です。詳しくは、市商工観光課(☎8816)へ。



後継者育成講座

国の伝統工芸品「丸亀うちわ」の技術・技法を学ぶ、「後継者育成講座」を開催します。今年で八年目を迎えるこの講座は、県の伝統工芸士をはじめ、ベテラン職人が伝統的なうちわの製造技術を教えてください。お気軽にお申し込みください。

講座応募要領

- 対象=うちわに興味があり、製作意欲がある県内在住の人(男女は問いません)
- とき=うちわ貼り加工の部・平成18年1月17日(火)～23日(月)、うちわ骨製造の部・平成18年1月25日(火)～31日(日)
- ところ=うちわの港ミュージアム
- 定員=各部10人 ※応募多数の場合は、面接のうえ決定
- 参加料=無料(機材、材料などは主催者で準備します)
- 申し込み方法=申込書に必要事項を記入し、うちわの港ミュージアム(港町307番地15)へ
- 締め切り=12月24日(土)
- 問い合わせ先=うちわの港ミュージアム(☎7055)